会報 河川文化

第111号

令和7年9月

Contents

巻頭言
「観光まちづくり」の原点と現在
―由布院・天童・温泉津からの示唆― 楓 千里 2

特集「川と温泉文化」
【シリーズ／河川文化を語る】
日本人と温泉文化 竹村 和花 4
～水源の恵みを未来につなぐ～
四万川とともに紡ぐ千年の湯 宮崎 博行 8
―自然と共生する四万温泉
平川の流れと共に歩む「橋の町」大鰐温泉 中園 裕 10
歴史と伝統文化に彩られた山中温泉 竹内 宏 12
湯の峰温泉の魅力 田上 竜彦 14
川とともに歩む三朝（みささ）温泉 藤井 紀好 16
長湯温泉と芹川が奏でる かわまちづくりのプロローグ 中西 章敦 18
市民活動紹介
もう一つの水の文化・温泉文化をユネスコ無形文化遺産に 熊倉 浩靖 20
芦活部の活動の紹介 大土井誉人
会員の活動紹介
令和６年度 彩の川研究会 現地調査会 内藤 晴之 24
～合角ダム、玉淀ダム、六堰頭首工を訪ねて～
川の風景（第10話）
「御材木川狩之図」 藤田 英昭 26
―付知川における運材の顛末―
第27回日本水大賞・2025日本ストックホルム青少年水大賞 30
落語と川㊺「首ったけ」 竹内 宏 28
川の本 31
協会活動日誌 31